

今年度事業名	鯖江市文化協議会事業補助金	事業コード 583
来年度事業名	鯖江市文化協議会事業補助金	

総合戦略体系	325	若くて元気のまちの創造	子どもがいまいきと過ごすまち	文化活動の推進
--------	-----	-------------	----------------	---------

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	文化振興に寄与する文化団体の育成を図る。地方文化の向上を図るため、伝統的文化、芸能、行事等の育成、ならびに継承保存に努め豊かな文化のふるさとづくりを図る。				
	概要	鯖江市文化協議会に対する補助金の交付。文化のふるさとづくりに要する経費。観月の夕べ、県文協選抜芸能祭・美術展、市文協芸能祭、市文協総合展・合同茶会。				
	コロナ対応の取組	(今年度)中止(補助金交付なし)(来年度)新型コロナウイルス感染拡大予防措置を取っての事業実施を団体に指導予定。				
法令根拠		実施形態	現在	補助金等交付		
			内容			

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
構成団体の数	団体	目標値				0	31
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
構成団体の構成員数	人	目標値				0	310
		実績値					
計算根拠	文化協議会からの聞き取り	達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
構成団体の数	団体	目標値	35	35	35		
		実績値	35	35	31		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
構成団体の構成員数	人	目標値	350	350	350		
		実績値	350	335	310		
計算根拠	文化協議会からの聞き取り	達成率	100	95.7	88.6		
		実数値					

ランク A A B

事業要員	正規職員		ランク B、C の理由 会員、団体の高齢化のため、新規入会者が減少した。
	臨時・嘱託		
	※所要時間	16	

DO(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	2,150	2,150	2,150	0
決算額	2,150	2,150	2,150	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	7	602	文化団体活動費補助金	2,995	0	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	0

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計
		0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 12 / 16

②事務改善 評価項目

効率性	今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
有効性	今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、財源(補助金等、受益者負担などを 確保する余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
有効性	今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 7 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	昨年に引き続き、市民主体の文化振興事業を実施してもらうため、鯖江市文化協議会に補助金を交付する予定。 今後は、文協総合展と美術協会展は、会期が近いため統合できないかを引き続き検討していきたい。
前年度の実績	R1年度の会員数は310名、団体数は31団体であった。主な事業として「観月の夕べ」、「芸能祭」、「文協総合展・合同茶会」を開催。
来年度へ向けて	前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題 R1年度は会員の高齢化に伴い、会員数、団体数ともに加入数が減少の傾向にある。また、今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて事業開催が不可能な状況のため、加入者、加入団体が減る可能性がある。
	実績と課題を踏まえた来年度の変更点 HPなどで市民全般に団体の活動を周知する他、若い年齢層も興味を持ち加入しやすいようにするなど団体の事業の在り方や事業内容について協議し、文化団体の育成を図る。
	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
度	市民主役事業にかかる額(単位千円):
来年 事業名	
度	市民主役事業にかかる額(単位千円):

今年度 事業名	史跡兜山古墳環境整備事業	事業コード 606
来年度 事業名	史跡兜山古墳環境整備事業	

総合戦略 体系	325	若くて元気のマチの創造	子どもがいまいきと過ごすまち	文化活動の推進
------------	-----	-------------	----------------	---------

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	2006	終了年度	2022
	目的	国指定文化財「史跡兜山古墳」の保存と活用をより効果的に行うために必要な環境整備事業を実施する。				
	概要	北陸最大の円墳である国指定文化財「史跡兜山」の用地買収の実施、整備計画の策定、各種設計書の作成、関連工事の実施をととして古墳公園化を目指す。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
法令 根拠		実施 形態	現在	市直営		
			内容	国庫・県費補助事業として市が整備計画事業を推進し、古墳公園化を目指す。		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
事業進捗率	%	目標値					
		実績値					
計算 根拠	公有化は平成28年度で終了。平成29年度は基本計画、平成30年度に基本設計、令和元年度に実施設計・一部工事着工、令和2年度・令和3年度に施工し、完成の予定であるため、全期間の指標を面積等で示すのは困難	達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
事業進捗率	%	目標値	13	16	20	30	60
		実績値	13	16	20		
計算 根拠	公有化は平成28年度で終了。平成29年度は基本計画、平成30年度に基本設計、令和元年度に実施設計・一部工事着工、令和2年度から令和4年度に施工し完成予定であるため、全期間の指標を面積等で示すのは困難	達成率	100	100	100		
		実数値	13/100	16/100	20/100		

ランク	A	A	A
-----	---	---	---

事業要員	正規職員	0.33
	臨時・嘱託	0
	※所要時間	0

ランク B、Cの 理由	
-------------------	--

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	7,053	7,200	18,810	61,552
決算額	7,053	6,822	18,810	

タイプ	会計	一般会計
	事業タイプ	補助(国)事業
	経費区分	普通建設事業費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	7	501	文化財保存整備事業費(補助)	61,552	61,552	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	61,552

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(国庫補助)	30,776
2	国指定文化財等保存修理補助金(県費補助)	5,000
3		
4		
5以降		
合計		35,776

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 14 / 16

②事務改善 評価項目

効率性	今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
有効性	今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 10 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒	内容拡大
	取組内容	内容拡大。 令和2年度は整備工事に本格着手し、予算を増額して事業実施した。 委託内容:工事監理業務 工事内容:施設撤去工・敷地造成工・樹木整姿工ほか
来年度へ向けて	前年度の実績	実施設計の作成。第1期整備工事(樹木伐採工)の実施。
	前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題	R2事業については、国の現状変更許可が一部にとどまったため事業計画通りとならず(補助額の削減=事業額の減額)、R3以降の事業計画を見直さざるを得ない状況となっている。
	実績と課題を踏まえた来年度の変更点	今後の事業計画について国・県と協議を行い、事業完了まで必要な予算を確保して工事を実施する。
方向性⇒		維持

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
度	市民主役事業にかかる額(単位千円):
来年度 事業名	
度	市民主役事業にかかる額(単位千円):

今年度事業名	やんしき保存協会活動費補助金	事業コード 1945
来年度事業名	やんしき保存協会活動費補助金	

総合戦略体系	325	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	文化活動の推進
--------	-----	-------------	----------------	---------

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	やんしき踊りの保存および普及活動を行い、鯖江の伝統芸能を守り、地域の連帯を深める。				
	概要	やんしき保存協会の活動費の補助				
	コロナ対応の取組	(今年度)コロナウィルスの影響で他所へ出ていく活動が無くなり、公民館での講座等に切り替えたことにより、規模を大幅に縮小して活動。よって、令和2年度は補助金を交付しない。(来年度)現時点ではコロナ禍が収束するという見通しに基づき、例年通りの事業内容とする。なお、令和2年度と同様に、密接・密集・密閉を避ける行動指針等が示された社会情勢であれば、例年通りの活動が不可能となるため、補助金については不交付あるいは減額して交付することを検討する。				
法令根拠		実施形態	現在	補助金等交付		
			内容	やんしき踊りの保存・継承事業に関する指導・助言		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
普及活動回数	回	目標値				0	40
		実績値					
計算根拠		達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
普及活動回数	回	目標値	40	40	40		
		実績値	44	45	49		
計算根拠		達成率	110	112.5	122.5		
		実数値					

ランク	A	A	A
-----	---	---	---

事業要員	正規職員	0.05
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

ランク B、Cの理由	
------------	--

DO(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	300	300	300	0
決算額	300	300	300	

タイプ	会計	一般会計
	事業タイプ	単独事業
	経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	7	602	文化団体活動費補助金	2,995	0	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	0

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 12 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。
効率性 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う
人員削減させる余地はないか。
効率性 ある ない

今以上に、財源(補助金等、受益者負担などを
確保する余地はないか。
有効性 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
有効性 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 7 / 20

ACTION

今年度 方向性⇒ 廃止・休止

取組内容
コロナの影響により実施出来ず。
令和元年度の会の活動状況実績から判断して令和2年度の事業計画は例年並みと判断したが、コロナウィルスの影響により活動の大幅縮小を余儀なくされると判断し、補助金不交付とした。

来年度の実績
令和元年度の活動実績については、市内外において40以上の普及啓発活動を実施しており、文化財を伝承する積極的な取り組みは評価される。

前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題
令和2年度は、コロナウィルスの影響により活動の大幅縮小を余儀なくされ、令和3年度も同様の懸念がある。これにより継承活動が滞る可能性が高い。

実績と課題を踏まえた来年度の変更点
令和3年度は、コロナ禍が収束に向かうことを前提に予算確保を図ったものの減額となったため、例年並みの事業実施は困難となる見通し。また、コロナ禍によって会の活動に影響が出た場合は、補助金を減額・中止することも検討する。

方向性⇒ 内容縮小

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名
度 市民主役事業にかかる額(単位千円):

来年 事業名
度 市民主役事業にかかる額(単位千円):

今年度事業名	まなべDEわくわく!! アートフェスタ	事業コード 2078
来年度事業名	まなべDEわくわく!! アートフェスタ	

総合戦略体系	325	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	文化活動の推進
--------	-----	-------------	----------------	---------

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	2010	終了年度	9999
	目的	子どもたちが芸術文化に触れ合うことのできる総合的芸術文化活動をとおり、子どもたちに地域の伝統文化、歴史を伝え、郷土を愛する心や創造力豊かな人間性を育み、次世代の育成に努めるとともに市の文化振興を推進することを目的とする。				
	概要	鯖江市がこれまで築いてきた芸術文化、伝統芸能・工芸・産業、生活文化、歴史などの地域の資源や特性を活かした分野を中心に芸術文化を総合的に体験できる学びの場として開催する。また、登録博物館 まなべの館として文化芸術活動の拠点となるよう積極的に活用し、市民に親しまれ愛される施設を目指す。				
	コロナ対応の取組	(今年度)中止。(来年度)感染予防対策を踏まえ、1日で行っていた事業を日にちを分散して開催。				
法令根拠		実施形態	現在	市直営		
			内容	市が参加者を募集し、講師は一部、各種市民団体等に依頼し開催している。		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
体験教室の回数	日	目標値				0	3
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
参加人数	人	目標値				0	360
		実績値					
計算根拠		達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
体験教室の回数	日	目標値	1	1	1		
		実績値	1	1			
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
参加人数	人	目標値	370	370	370		
		実績値	400	400	400		
計算根拠		達成率	108.1	108.1	108.1		
		実数値					

ランク	A	A	A
-----	---	---	---

事業要員	正規職員	0.2
	臨時・嘱託	0.01
	※所要時間	0

ランク B、Cの理由	
------------	--

DO(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	709	650	650	0
決算額	709	545	549	

タイプ	会計	一般会計
	事業タイプ	単独事業
	経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	7	201	文化振興諸経費	8,224	0	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	0

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1	参加者負担金 (@300円×200人)	60
2		
3		
4		
5以降		
		合計 60

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 14 / 16

②事務改善 評価項目

効率性	今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
効率性	今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
有効性	今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
有効性	今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 7 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒	維持
	取組内容	R1年度と同様の形態で実施。 近年、抽選になるほど参加希望者が多くなっているため、より多くの子もたちが参加できるようカリキュラムや運営体制の見直しを検討していく。
来年度へ向けて	前年度の実績	R1年度は400人の参加者があった。
	前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題	1日に360人余りの参加があるため、会場に参加者が密にならないように人数を制限する他、換気、消毒など万全の感染予防対策を講じなければならない。
実績と課題を踏まえた来年度の変更点		従来1日で行っていた事業を日にちを分散させて行い、参加者の安全を十分に確保して実施する。また、参加料を現在の一人300円から500円に変更するとともに民間財団の助成金・補助金の確保を図る。さらに、提案型市民主役事業に移行できるような事業内容の検討を行う。
方向性⇒		事務改善

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	可能	可能	可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
来年 事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	

今年度 事業名	まちかど歴史浪漫コンサート	事業コード 2080
来年度 事業名	まちかど歴史浪漫コンサート	

総合戦略 体系	244	若者が住みたいなるまちの創造	ものづくり教育とふるさと学習の推進	市民との協働事業の推進
------------	-----	----------------	-------------------	-------------

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	2006	終了年度	9999
	目的	建造物をはじめとする文化財を舞台・素材としたイベントを開催することにより、文化財の保存と活用に関する理解を深めるとともに、まちづくりの貴重な素材としての理解につながる機会を提供する。				
	概要	文化財(建造物等の有形文化財等)の内外を舞台として会場を設置し、音楽等コンサートを行う。その際には、文化財所有者の了承のもと文化財等を公開し市民が直接目に触れる機会を提供する。提案型市民役事業。				
	コロナ対応 の取組	(今年度)10月に予定していた屋外イベントであったため、感染拡大防止の観点から中止とした。(来年度)隔年開催としたため実施しない。(令和2年度と同様な社会情勢であれば、規模縮小(来場者数限定)出の開催、あるいは中止を検討予定)				
法令 根拠		実施 形態	現在	民間等委託(全部)		
			内容	提案型市民役事業として、プロポーザル形式で受託者を決定している。		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
文化財建造物を舞台としたコンサート等の実施	回	目標値				0	1
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
観客者(参加者)数	人	目標値				0	100
		実績値					
計算 根拠		達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
文化財建造物を舞台としたコンサート等の実施	回	目標値	1	1	1		
		実績値	1	1	1		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
観客者(参加者)数	人	目標値	150	200	200		
		実績値	188	209	193		
計算 根拠		達成率	125.3	104.5	96.5		
		実数値					

ランク	A	A	A
-----	---	---	---

事業要員	正規職員	0.25
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

ランク B、Cの 理由	
-------------------	--

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	1,180	1,080	1,080	0
決算額	1,180	1,080	1,080	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	7	202	文化財管理事務諸経費	7,350	0	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	0

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 13 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
効率性 今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 4 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒ 維持
取組内容	今年度は、コロナウィルスの影響により事業を中止した。
前年度の実績	市指定文化財「忠直卿御墓所」のある長久寺にて開催。来場者数は193名。
来年度へ向けて	前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題 過年度の参加者数などから判断してニーズは十分にあるものと考えていたが、令和2年度はコロナウィルスの感染対策防止の観点から事業を中止した。次年度以降も、社会情勢次第では規模縮小あるいは中止を検討せざるを得ない。
	実績と課題を踏まえた来年度の変更点 隔年開催としたため、R3年度は事業を実施しない(R4実施予定)。 なお、提案型市民主役事業であるため、今後は(社会情勢次第であるが)コロナ対策を踏まえた提案内容とし、事業周知や会場に來れない方への対策として映像配信等の取り組みを行うなどの工夫を検討する。また、入場料を徴収するなど財源確保を目指す。
	方向性⇒ 隔年実施

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	実施	実施	実施	実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	まちかど歴史浪漫コンサート
市民主役事業にかかる額(単位千円):	1,100
来年度 事業名	まちかど歴史浪漫コンサート
市民主役事業にかかる額(単位千円):	

今年度事業名	ふるさと鯖江検定事業	事業コード 2549
来年度事業名	ふるさと鯖江検定事業	

総合戦略体系	325	若くて元気のマチの創造	子どもがいまいきと過ごすまち	文化活動の推進
--------	-----	-------------	----------------	---------

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	2008	終了年度	2023
	目的	ふるさと鯖江に関する歴史・地理・文化・産業・経済などに関する検定を実施し、ふるさとへの理解を高める一助とする。				
	概要	「ふるさとさばえ」を広く知ってもらうため、鯖江の歴史や市の取り組みなど幅広いテーマで出題する検定をWEBで実施する。(令和元年度より)。また、子どもむけのキッズ検定では、子どもの頃からふるさとに愛着をもつように学校と連携し、出前講座を活用実施する。(平成27年度より)。				
	コロナ対応の取組	(今年度)キッズ検定では、新型コロナウイルス感染予防対策をとり実施。(来年度)出前講座等を介して行うキッズ検定では、新型コロナウイルス感染予防対策を充分にとり実施。				
法令根拠		実施形態	現在	市直営		
			内容	市職員が問題を作成する。		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
検定の実施	回	目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
受験者数(申込者数)	人	目標値					
		実績値					
計算根拠		達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
検定の実施	回	目標値	2	2	2	1	1
		実績値	2	2	2		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
受験者数(申込者数)	人	目標値	150	150	150	75	75
		実績値	260	302	359		
計算根拠		達成率	173.3	201.3	239.3		
		実数値					

ランク A A A

事業要員	正規職員	0.2
	臨時・嘱託	0.01
	※所要時間	0

ランク B、Cの理由	
------------	--

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	248	209	89	8
決算額	144	43	39	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	7	201	文化振興諸経費	8,224	8	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	8

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計
		0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input checked="" type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input checked="" type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 9 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 効率性 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 効率性 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
今以上に、財源(補助金等、受益者負担などを 確保する余地はないか。 有効性 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
今以上に、成果を向上させる余地はないか。 有効性 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 7 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	R1年度と同様な形態で実施。 R1年度は各課から集めた幅広い問題に再考し、Web受験を導入して気軽に受験体制に整えた。R2年度は事務処理も簡単にできるよう考えていく。
前年度の実績	ふるさと鯖江検定はWEB、筆記あわせて42名、キッズ検定はWEB、筆記あわせて317名の受験者があった。
来年度へ向けて	前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題 R1年度は多くの方が気軽に受験できるように、受験方法にWEB受験を取り入れた。検定問題も歴史に特化せず鯖江に関することと広くしたが、一般の受験者は減少の傾向にあり、事業の周知方法が課題となる。また、キッズ検定は、学校等の協力体制が不可欠となっている。
	実績と課題を踏まえた来年度の変更点 WEB検定をHPやSNSを活用して広く周知し、受験者数増を図る。また、子どもたちに検定を通して鯖江の良さを知ってもらうため、学校と連携し出前講座等を活用して行う。
	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	可能	可能	可能	可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	
来年度 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	

今年度 事業名	鯖江市美術展開催事業	事業コード 2556
来年度 事業名	鯖江市美術展開催事業	

総合戦略 体系	325	若くて元気のまちの創造	子どもがいまきいと過ごすまち	文化活動の推進
------------	-----	-------------	----------------	---------

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	2008	終了年度	9999
	目的	本市の美術文化の向上を図り、市民に親しまれる美術の祭典となることを目的とする。				
	概要	日本画・水墨画、絵画・造形、彫刻・立体、書道、工芸、写真、デザインの7部門に分けて、作品を募集し、審査の結果、入賞・入選作品を展示し、表彰を行う。会場は、まなべの館、響陽会館の2会場。会期は5日間。運営にあたっては、アートスタッフボランティアを募集する。会期中、アートワークショップを開催し、意見交換の場を設ける。また、子どもから大人まで気軽に美術に親しんでもらうために「気がるにあーと展」も同時開催する。				
	コロナ対応 の取組	(今年度)新型コロナウイルス感染予防対策を充分に行い開催。(来年度)新型コロナウイルス感染予防対策を充分に行い開催。				
法令 根拠		実施 形態	現在	市直営		
			内容	市民が主体となった実行委員会で実施する。		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
作品の応募点数	点	目標値				225	225
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
会場への来場者数	人	目標値				4000	4000
		実績値					
計算 根拠	市民の文化意識の向上を会場への来場者数で判断する。※H24から開催期間が10日間から5日間に変更。※H27から開催日を11月に、会場を2会場に変更。	達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
作品の応募点数	点	目標値	450	450	450		
		実績値	437	377	-		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
会場への来場者数	人	目標値	7,000	8,000	8,000		
		実績値	7,511	8,009	-		
計算 根拠	市民の文化意識の向上を会場への来場者数で判断する。※H24から開催期間が10日間から5日間に変更。※H27から開催日を11月に、会場を2会場に変更。	達成率	107.3	100.1	-		
		実数値					

ランク	A	A	-
-----	---	---	---

事業要員	正規職員	0.5
	臨時・嘱託	0.1
	※所要時間	0

ランク B、Cの 理由	新型コロナウイルス感染拡大の影響でR1年度は開催中止
-------------------	----------------------------

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	2,280	2,263	2,405	2,905
決算額	2,110	1,949	691	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	7	201	文化振興諸経費	8,224	2,905	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	2,905

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1	出品料 (@1,000円×250人)	250
2		
3		
4		
5以降		
合計		250

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 14 / 16

②事務改善 評価項目

効率性	今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
有効性	今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
有効性	今以上に、財源(補助金等、受益者負担などを 確保する余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
有効性	今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 4 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒ <input type="text" value="事務改善"/>
取組内容	R1年度と同様の形態で実施。 R2年度は人材育成の要望が高いことから、芸術講座・講演会開催にも力を入れ、応募者数の増を図る。
前年度の実績	中止
来年度へ向けて	前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題 新型コロナウイルス感染拡大の影響でR1年度は開催中止になった。市民が安心して自己の創作活動を発表することができるよう感染リスクの関連事業は行わないなど、感染予防対策を徹底させることが重要課題である。 実績と課題を踏まえた来年度の変更点 出品数の縮小、作品の搬入・搬出を時間制に変更、作業人数を制限するなど感染予防体制を整えて開催するとともに、今後は感染リスクを考え小作品公募も検討していきたい。また、人材育成や技術向上を目的とした芸術講座・講演会も企画していく。出品料を現在の1,000円から1,500円に変更し財源を確保するとともに、出品申し込みを、現在の紙提出からWEB受付に変更し、事務軽減を図る。
方向性⇒	<input type="text" value="事務改善"/>

【提案型市民役事業実施】					
年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	可能	可能	可能	可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	<input type="text" value="市民主役事業にかかる額(単位千円):"/>
来年度 事業名	<input type="text" value="市民主役事業にかかる額(単位千円):"/>

今年度事業名	近松が生まれ育ったまちさばえ発信事業	事業コード 3080
来年度事業名	近松が生まれ育ったまちさばえ発信事業	

総合戦略体系	325	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	文化活動の推進
--------	-----	-------------	----------------	---------

PLAN(計画)	部署名	文化課	開始年度	2012	終了年度	9999
	目的	平成23年度で、まちづくり交付金事業が終了し、継続性が必要なものについて予算付けて「近松のまちさばえ」を情報発信してきたが、28年度に近松鯖江生誕説が発表されたことに伴い新たに「近松が生まれ育ったまちさばえ」を全国に情報発信する。				
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・鯖江人形浄瑠璃「近松座」によるPR出前公演を委託する。 ・「立待月観月の夕べ」開催を委託する。令和3年度より事業名を「近松が生まれ育ったまちさばえ発信事業」として市民役事業として隔年で委託する。 ・近松入門講座を市民役事業として委託する。令和3年度よりさばえ近松倶楽部へ委託。 				
	コロナ対応の取組	(今年度)中止(来年度)立待観月の夕べは「近松が生まれ育ったまちさばえ発信事業」として提案型市民役事業へ変更。あわせて、講座や見学会等の関連イベントを一事業に統合することも検討する。				
法令根拠		実施形態	現在	民間等委託(一部)		
			内	PR公演は、鯖江人形浄瑠璃「近松座」に委託、「立待月観月の夕べ」は、「近松が生まれ育ったまちさばえ発信事業」とし市民役事業として隔年開催、「近松入門講座」はさばえ		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
近松座による出前公演の回数	回	目標値				0	7
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
近松が生まれ育ったまちさばえ発信事業の参加者数	人	目標値				0	10000
		実績値					
計算根拠	「近松が生まれ育ったまちさばえ」が浸透しているかどうかをイベントの観客数で判断する。R1年度:近松入門講座の参加者数を追加 ※発信事業の内訳は近松講座、文楽公演委託事業、近松が生まれ育ったまちさばえ発信事	達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
近松座による出前公演の回数	回	目標値	8	15	15		
		実績値	19	17	11		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
たちまち近松まつり・立待月観月の夕べの観客数、近松入門講座の参加者数	人	目標値	8,500	10,500	10,500		
		実績値	10,000	10,000	10,000		
計算根拠	「近松のまちさばえ」が浸透しているかどうかをイベントの観客数で判断する。R1年度:近松入門講座の参加者数を追加	達成率	117.6	95.2	95.2		
		実数値					

ランク A A A

事業要員	正規職員	0.1
	臨時・嘱託	0.1
	※所要時間	0

ランク B、Cの理由

DO(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	1,700	1,882	2,000	0
決算額	1,700	1,769	1,803	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	7	201	文化振興諸経費	8,224	0	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	0

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 13 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 効率性	<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない
今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。	<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない
今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。 有効性	<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない
今以上に、成果を向上させる余地はないか。	<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 4 / 20

ACTION

今年度 方向性⇒ 維持

取組内容 R1年度と同様の形態で実施。
R2年度も提案型市民主役事業「近松講座」、文楽公演委託事業、近松のまちづくり推進活動事業(近松の里づくり推進会議)開催委託を行い、近松が生まれたまち鯖江の全国発信を強化していく。

前年度の実績 提案型市民主役事業「近松講座」8回、文楽公演委託事業 11回、近松のまちづくり推進活動事業開催業務委託 立待観月の夕べ ワークショップを含め1回実施。

前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題
近松講座、近松座ともに高齢化による会員数が減少の傾向にある。また、今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響から未開催の事業が多く、「近松が生まれ育ったまちさばえ」の発信が虚弱化する可能性がある。

実績と課題を踏まえた来年度の変更点
「近松が生まれ育ったまちさばえ」の周知強化を図るため、立待地区に限らず、広く鯖江市民が参加できる事業に変換する。若い年齢層をはじめ幅広い年齢層も興味を持ち参加できる事業にするため、「近松のまちづくり推進事業」を「近松が生まれ育ったまちさばえ発信事業」として市民提案型に変更、近松講座や文楽公演委託事業についても開催団体と実施内容を協議する。また、事業内容を精査し予算を削減するとともに、イベントは隔年開催とする。

方向性⇒ 事務改善

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	未実施	実施	未実施	実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
来年 事業名	近松が生まれたまち鯖江発信事業
市民主役事業にかかる額(単位千円):	

今年度 事業名	文化財調査事業	事業コード 3082
来年度 事業名	文化財調査事業	

総合戦略 体系	325	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	文化活動の推進
------------	-----	-------------	----------------	---------

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	2011	終了年度	9999
	目的	文化財を保存保護し、郷土に誇りを持つ人材の育成を図るために、指定文化財候補となるべき物件の悉皆調査のほかまなべの館で未整理となっている古文書等の調査を実施する。				
	概要	鯖江市文化財調査委員会での諮問をはじめとして、多方面からの要望等に基づき、事務局において調査が必要と判断された文化財について調査を実施する。事業の一部については、高度な専門的知識と技術をもつ明治大学および京都女子大学の専門家に委託する。				
	コロナ対応 の取組	(今年度)R2年度は調査委託先となる県外の研究機関(大学)についてはコロナウィルスの影響によって移動が制限され調査が不可能となったことから、一部の調査をのぞき事業内容を大幅に縮小した。(来年度)令和3年度も例年と同様の内容で検討しているが、引き続き県外移動が困難な社会情勢であれば、事業を縮小あるいは中止を検討する。				
法令 根拠		実施 形態	現在	民間等委託(一部)		
			内容	市職員(学芸員)および専門機関(大学)の一部を委託して直接市内各地の文化財を訪問し、調査を行う。		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
悉皆調査の回数	回	目標値				1	5
		実績値					
古文書の搬入点数	点	目標値				0	300
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
古文書の調査作成点数	点	目標値				0	300
		実績値					
計算 根拠		達成率					
		実数値					
調査した文化財の数	件(点)	目標値				1	5
		実績値					
計算 根拠		達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
悉皆調査の回数	回	目標値	8	5	5		
		実績値	8	10	9		
古文書の搬入点数	点	目標値	1,000	2,000	300		
		実績値	800	2,000	400		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
調査した文化財の数	件(点)	目標値	40	10	5		
		実績値	39	10	9		
計算 根拠		達成率	97.5	100	180		
		実数値					
古文書の調査作成点数	点	目標値	1000	2,000	300		
		実績値	800	2,000	400		
計算 根拠		達成率	80	100	133		
		実数値					

	ランク	A	A	A
事業 要員	正規職員	0.34	ランク B、Cの 理由	
	臨時・嘱託	0.87		
	※所要時間	0		

【単位：千円】								
事業費	区分	2017	2018	2019	2020	タイプ	会計	一般会計
	予算額	60	60	860	174		事業タイプ	単独事業
	決算額	60	60	841			経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	5	7	202	文化財管理事務諸経費	7,350	0
	2	10	5	7	203	文化財調査事業費	1,607	174
	3							
	4							
	5以降							
							合計	174

補助金等	No	R2年度補助金等名称	金額(千円)	
	1			
	2			
	3			
	4			
	5以降			
			合計	0

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし～5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし～5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 **14 / 16**

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。
効率性 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。
効率性 ある ない

今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。
有効性 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
有効性 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 **4 / 20**

CHECK(評価)	今年度	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
	取組内容	大学等への調査委託については断念し、一部調査事業のみ実施。(文化財調査委員会において、市内に眠る未調査の文化財候補物件調査の必要性は毎年指摘されており、それを反映して実施。このうち特に保存保護の必要なものについては市指定文化財への道筋をつける)
	来年度の実績	県内外の調査者による直接調査のほか市外の調査機関(大学)に委託して調査を実施した結果、悉皆調査件数9件、古文書の調書作成点数400点。
ACTION	前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題	令和2年度は、コロナウィルスの影響により移動が制限され調査が不可能となったため大学等への調査委託を断念し、県内の専門家および事務局による調査のみとした(事業の縮小)。県内外への移動を伴う事業のため、調査環境は厳しい。
	実績と課題を踏まえた来年度の変更点	令和3年度は、コロナウィルスが収束することを前提に予算を確保して実施するが、R2年度と同じ社会情勢が続けば事業の縮小あるいは中止を検討する。
	方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>

【提案型市民役事業実施】					
年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

今年 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	
来年 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	

取組可能な事業の詳細⇒

今年度 事業名	まなべの館企画展開催事業	事業コード 3399
来年度 事業名	まなべの館企画展開催事業	

総合戦略 体系	325	若くて元気のまちの創造	子どもがいまいきと過ごすまち	文化活動の推進
------------	-----	-------------	----------------	---------

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	2014	終了年度	9999
	目的	博物館活動の中核を担う企画展開催事業を通して、教育・学術向上への寄与を図るだけでなく、本市の芸術文化・歴史等のさらなる向上を図ることを目的とする。また、登録博物館としてのまなべの館の活用を積極的に図り、安定した事業運営を確保する。				
	概要	歴史、芸術、民俗、産業、自然科学および現代社会が抱える問題など、まなべの館展覧会開催方針に伴ったテーマのもと企画展開催事業等を実施する。				
	コロナ対応 の取組	(今年度)当初、企画展2本を予定していたが、会期を変更して1本のみ開催。(来年度)新型コロナウイルス感染予防対策を取って企画展2本を開催する。				
法令 根拠		実施 形態	現在	市直営		
			内容	市職員(学芸員)が企画し、資料所有者との交渉や展示パネルの原稿作成を行なう。		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
企画展の開催		回	目標値				1	2
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
入館者数		人	目標値				1000	2500
			実績値					
計算 根拠			達成率					
			実数値					

■ 通常期の指標

活動指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
企画展の開催		回	目標値	3	3	3		
			実績値	3	3	3		
成果指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
入館者数		人	目標値	5,000	7,000	5,000		
			実績値	7,565	14,206	8,486		
計算 根拠			達成率	151.3	202.9	169.7		
			実数値					

ランク	A	A	A
-----	---	---	---

事業要員	正規職員	0.2
	臨時・嘱託	0.1
	※所要時間	0

ランク B、Cの 理由	
-------------------	--

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	5,000	5,000	5,000	0
決算額	5,000	5,000	5,000	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	7	204	都市再生整備計画事業費	28,000	0	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	0

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1	都市再生整備計画事業費補助金(国庫補助)	0
2	観覧料(@100円×4000人)	400
3		
4		
5以降		
合計		400

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 14 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 4 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	企画展2本を予定していたが、企画展「(仮)鯖江藩立藩300年記念展」を中止し、「花ものがたり 助田茂蔵と女流作家たち」のみの開催とした。
前年度の実績	R1年度はクヨウジと仲間たち「ヒサクニヒコ原画展」と「間部詮勝遺墨展一幽玄の世界」、「あみきやら×文化遺産ジオリマ展」の3本の企画展を開催、8,672人の入館者があった。
来年度へ向けて	前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題 R2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、展示資料が県外に及ぶ企画展は開催できなかった。市民が安心して鑑賞できる環境を整えることが最重要課題である。
	実績と課題を踏まえた来年度の変更点 感染予防対策を徹底するとともに、展示内容のWEB配信などオンラインコンテンツを充実させ、鑑賞者増を図る。また、観覧料については現在の一人100円から増額し、財源確保を図る。
	方向性⇒ <input type="text" value="事務改善"/>

【提案型市民役事業実施】					
年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

今年 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	
来年度 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	

取組可能な事業の詳細⇒